

ホームページアクセスカウンタ使用方法

1. 数字イメージ

カウンタで利用できる数字イメージは、下記のようになります。

Style A	
Style B	
Style C	
Style D	
Style E	

2. プログラムの呼び出しかた

ホームページでカウンタを呼ぶには、下記のようにHTMLに書きます。

```

```

? と " の間にある文字列は、QUERY_STRING と呼ばれるものです。

このカウンタにはさまざまなオプションがあつて、思った通りのデザインを使用できます。

query string 中で、下表で説明されるオプションを使うことができます。

オプションは | 又は & で区切ります。下記のように、いくつでもつなげて使ってください。

```

```

オプション表記に順序はありません。

カウンタオプション

パラメータ	ネーム	説明	デフォルト
display=X	何を表示するか	display=パラメータ で、カウンタ・時計・日付のうち、何を表示するのかを指定します。使用できるパラメータは、 counter,clock または date になります。	display=counter
timezone=X	時計・日付のタイムゾーン	timezone= パラメータは、display=clock or display=dateのみに使用できます。他のタイムゾーンの時計・日付を表示したい時に使用します。タイムゾーンはGMTに対して+または-で表現します。たとえば、 timezone=GMT-0500 ・ timezone=GMT+0000 ・ timezone=GMT+0530 のように表記します。	None.
tformat=X [new in this release]	12時間表記 または 24時間表記	パラメータは 12 又は 24 です。	tformat=12
dformat=X	日付 フォーマット	このパラメータは display=date と合わせて使用します。パラメータは、 MMDDYY (Month-Day-Year) の組み合わせで表記します。例えば、 dformat=ddmmyy,dformat=YYMMDD. のように書きます。	dformat=MMDDYY
istrip=B [new in this release]	イメージ表示 ON/OFF	論理型パラメータ istrip はイメージで表示するかしないかを指定することができます。 istrip はY,N,T,F,1,0で指定します。	istrip=T
ft=X	フレーム厚み	カウンタのフレーム厚みをピクセルで指定します。0でフレーム無し、5以上で3-D効果が出ます。	ft=6
frgb=R;G;B	フレーム カラー	フレームカラーをRGBフォーマットで指定します。RGBそれぞれ、0から256になります。ft=をfrgb=パラメータ無しで使用すると、デフォルトの色が使用されます。 ネットスケープでの16進表記のように頭に#をつけないでください。 例えば、 frgb=ffffff の様に書いてください。カラーネームを使用することもできます。(例:frgb=blue)	frgb=100;139;216 or frgb=648bd8
tr=B	透過 On/Off	論理型パラメータを指定するとカウンタイメージで透過色を使うか否かを指定できます。数字GIFが透過化されている必要はありません。ただし、どの色を透過にするのかを指定する必要があります。 trgb=パラメータが指定してある場合、tr=Yにする必要はありません。trgb=パラメータ指定無しで、tr=Yを指定すると、デフォルトで黒色が透過色になります。 値は、Y,N,T,F,1または0で指定します。	tr=F 透過無し

パラメータ	ネーム	説明	デフォルト
md=X	表示 最高桁数	表示する数字の最高桁数を指定します。5以上10以下で指定してください。空き桁は0で表示されます。	md=6 Without padding
pad=B	0で桁埋め	md=パラメータを指定した時に桁埋めをON/OFFします。値は、Y,N,T,F,1,または0で指定します。	pad=N md=value定義なし pad=Y md=value定義あり
dd=A	数字 ディレクトリの 指定	数字スタイルの入ったディレクトリを指定します。	dd=A 緑LED
image=gif_file [new in this release]	gifファイルを 表示	このパラメータでGIFイメージを表示します。 GIFイメージのあるディレクトリは、dd=で決定します。	無し
comma=B [new in this release]	3桁ごとに コンマを表示	論理型のパラメータcommaは、右から3桁ごとにコンマを表示するかどうか指定します。このパラメータを指定すると、左側の0を表示しません。	comma=F
srgb=R;G;B prgb=R;G;B [new in this release]	イメージ中の 指定カラーを 他のカラーに 変える	イメージ中の指定の色を他の色に変化させます。 srgbで変化色を、prgbで、元色を指定します。 srgbとprgbの値は、色別に10進表記 (srgb=255;0;0) も できますし、16進 (srgb=ff0000) でも書けます。 色名でも書くことができます。(srgb=red)	srgb=00ff00 (0;255;0 green) prgb=00ffff (0;255;255 cyan) With chcolor=T
chcolor=B	イメージ中の 色を変える	このパラメータで、グリーンをシアンに変化させます。 srgb and prgbパラメータをあわせて使うことで、 他の色を変化することもできます。 Y,N,T,F,1または0で、値を指定します。	chcolor=F
st=X	カウンタ スタート数	カウンタ開始数を指定します。 (このマシンでは、自動的にデータファイルを作成するにはインストールしてないので、このパラメータは使用できません。)	st=1 Count starts at 1
sh=B	カウンタ表示 ON/OFF	Yを指定すると、カウンタ表示インクリメントを行います。Nを指定すると、表示はしませんがカウンタのインクリメントは行います。	sh=Y

パラメータ	ネーム	説明	デフォルト
df=data_file	カウンタ数を保存するファイル	カウントを保存するファイルの名前を表記します。ファイルは指定されたディレクトリに保存されなければなりません。df=randomで、ランダムな数字を表示することができます。	df=random if no datafile is specified
incr=B	カウントのインクリメント	カウントをインクリメント無しで表示します。このオプションはカウント増加なしで、他の目的の表示のために使うことができます。使用可能な論理型パラメータはY,N,T,F,1,0です。	incr=T Increment the counter on each invocation
lit=X	リテラルの表示	あらかじめ決めてある文字列を表示させることができます。使用可能な値は、文字Xは数字、a,p,;,ーです。	None
negate=B	色の反転	カウンターの色を反転させます。Y,N,T,F,1,0で指定します。	negate=F Do not negate
degrees=X	X度の回転	カウンタイメージを回転させます。Xには90,180,270,360を指定できます。	degrees=270 With rotate=Y and without degrees=X rotate 270 degrees clockwise
rotate=B	Rotate On/Off	回転のON/OFFを指定します。degrees=が指定してある場合rotateは必要ありません。	rotate=F Do not rotate